

するため、関係者による意見交換会等を開催し、持続可能な体制づくりを進めます。

#### (9) 自殺予防対策の推進

- ・ 熊本県自殺対策推進計画に基づき、市町村や民間団体とも連携しながら、電話相談やSNS相談等による相談支援体制の強化、普及啓発、ゲートキーパー養成研修等など、自殺予防対策を推進します。
- ・ 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐため、「くまもと自殺予防医療サポートネットワーク制度<sup>⑨</sup>」を周知し、利用を促進します。

#### (10) 新興感染症の発生・まん延時における精神科医療提供体制の確保

- ・ 新型コロナウイルス感染症での対応を踏まえ、新興感染症の発生に備えて、平時から受入病院を確保するなど精神科医療提供体制を整備します。
- ・ クラスターが発生した病院等において、医療従事者が不足する場合に、災害派遣精神医療チーム（DPAT）<sup>⑩</sup>を活用して応援派遣をする体制を確保します。

## 4. 評価指標

指標名		現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
①	入院後3か月時点の退院率	51.6% (令和4年6月)	68.9% (令和8年6月)	・ 入院後の各時点における退院率 ・ 国の障害福祉計画等に係る基本指針で示された目標値を設定（第7期障がい福祉計画における目標値）
②	入院後6か月時点の退院率	76.7% (令和4年6月)	84.5% (令和8年6月)	
③	入院後1年時点の退院率	84.9% (令和4年6月)	91.0% (令和8年6月)	
④	慢性期入院者数 (65歳以上)	3,503人 (令和4年6月)	2,524人 (令和8年6月)	・ 入院後、1年以上の入院者数 ・ 国の障害福祉計画等に係る基本指針で示された目標値を設定（第7期障がい福祉計画における目標値）
⑤	慢性期入院者数 (65歳未満)	1,215人 (令和4年6月)	939人 (令和8年6月)	
⑥	退院後1年以内の地域での平均生活日数	306日 (令和4年6月)	326日 (令和8年6月)	・ 国の障害福祉計画等に係る基本指針で示された目標値を設定（第7期障がい福祉計画における目標値）
⑦	かかりつけ医等の心の健康対応力向上研修の受講者数	700人 (令和5年3月)	1,000人 (令和11年3月)	・ 研修会への受講者数について、各年度過去10年間の受講者数平均の維持を目指して、目標値を設定
⑧	自殺死亡率（人口10万対）	18.5人/年 (令和5年3月)	13.0人/年 (令和9年3月)	・ 国の自殺総合対策大綱で示された目標値を設定（第3期熊本県自殺対策推進計画における目標値）

<sup>⑨</sup> くまもと自殺予防医療サポートネットワーク制度とは、救急告示病院と精神科医療機関とのネットワークにより、精神科医療が必要と判断された自殺企図者を精神科医療機関につなげるための制度です。熊本県精神保健福祉協会、熊本県医師会及び熊本県精神科協会により運営されています。

<sup>⑩</sup> 災害派遣精神医療チーム（DPAT）とは、自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチームのことで。

### 【若年性認知症の人やその家族等の支援】

- ・ 若年性認知症の人が、発症初期の段階から本人の状態に合わせた適切な支援を受けられるよう、若年性認知症支援コーディネーター<sup>⑥</sup>と連携し、若年性認知症の人やその家族等を支援する関係者のネットワークを強化します。

## 4. 評価指標

指標名	現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
① 認知症疾患医療センターの外来新患者数（実数）及び相談件数	12,480件 （令和4年度）	16,300件 （令和11年度）	2030年の県認知症有病者数を踏まえた外来新患者数及び相談件数
② 認知症サポート医養成研修修了者数（累計）	285人 （令和4年度）	393人 （令和11年度）	年間受講者枠の2/3（18人）を受講目標として、6年間で108人（18人×6年）増
③ 認知症初期集中支援チームの年間訪問実人数	252人 （令和3年度）	392人 （令和11年度）	2030年の県認知症有病者数を踏まえた訪問実人数
④ かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数（累計）	1,377人 （令和4年度）	1,917人 （令和11年度）	直近5年間で最も多かった水準（90人）を踏まえて、6年間で540人（90人×6年）増
⑤ 市町村の若年性認知症に関する相談窓口設置数	16か所 （令和4年度）	45か所 （令和11年度）	全市町村に相談窓口を設置

<sup>⑥</sup> 若年性認知症支援コーディネーターとは、若年性認知症の人のニーズに合った関係機関やサービス担当者との調整役であり、認知症の人本人が自分らしい生活を継続できるよう本人の生活に応じた総合的なコーディネートを行う者のことです。

## 第8次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧 (精神疾患)

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用			
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと													
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草		
診療機能	○	●	入院後3カ月時点の退院率	熊本県障がい者支援課による集計	R4.6(毎年)		51.6		46.9	38.0	31.0	20.0	54.9	33.3	45.3	20.0	45.5	39.4	%	○		
診療機能	○	●	入院後6カ月時点の退院率	熊本県障がい者支援課による集計	R4.6(毎年)		76.7		81.3	68.0	57.1	66.7	77.9	75.0	72.0	30.0	78.8	60.6	%	○		
診療機能	○	●	入院後1年時点の退院率	熊本県障がい者支援課による集計	R4.6(毎年)		84.9		84.4	84.0	73.8	66.7	87.6	83.3	82.7	50.0	84.8	75.8	%	○		
診療機能	○	●	急性期入院者数(65歳以上)	630調査	R4.6(毎年)	28,918	845	40												人		
診療機能	○	●	回復期入院者数(65歳以上)	630調査	R4.6(毎年)	29,640	885	36													人	
診療機能	○	●	慢性期入院者数(65歳以上)	630調査	R4.6(毎年)	104,834	3,503	39													人	○
診療機能	○	●	急性期入院者数(65歳未満)	630調査	R4.6(毎年)	26,293	606	37													人	
診療機能	○	●	回復期入院者数(65歳未満)	630調査	R4.6(毎年)	13,757	284	32													人	
診療機能	○	●	慢性期入院者数(65歳未満)	630調査	R4.6(毎年)	55,473	1,215	33													人	○
普及啓発、相談支援			かかりつけ医等の心の健康対応向上研修受講者数	熊本県障がい者支援課による集計	R5.3(毎年)		700														人	○

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	調査の詳細		データ												単位	評価指標として使用	
				調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次保健医療圏ごと											
							数値	全国順位	熊本・上益城	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	八代	芦北	球磨			天草
地域における支援、危機介入			自殺死亡率(人口10万対)	地域における自殺の基礎資料	R5.3(毎年)	17.4	18.5	28	18.3	14.8	17.8	26.9	11.2	19.0	13.6	21.2	18.7	17.1		○
地域における支援、危機介入	○	●	退院後1年以内の地域での平均生活日数	NDBデータ	R4.6(不定期)	/	306	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	日	○
診療機能	○	●	新規入院者の平均在院日数	NDBデータ	R3.12(毎年)	263.3	288.6	32	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	日	
診療機能	S		依存症治療拠点機関選定数	熊本県障がい者支援課による集計	R5.3(毎年)	/	6.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
診療機能			依存症専門相談機関選定数	熊本県障がい者支援課による集計	R5.3(毎年)	/	14.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
普及啓発、相談支援	P	●	精神保健福祉センターにおける精神保健福祉の相談支援等の実施件数	こころのケアセンター活動実績	R4.3(毎年)	/	120件(豪雨災害) 52件(熊本地震)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
診療機能			児童・思春期精神疾患に対応可能な医療機関の数	熊本県障がい者支援課による集計	R4.12(毎年)	/	43	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		